

平成28年度 C調査問題 中学校1年数学

1年()組()番 氏名()

(答えはすべて解答用紙にかきなさい)

【1】 次の計算をしなさい。

(1) $6.25 - 0.3$ (2) $\frac{3}{8} - \frac{1}{3}$

【2】 下にあげた4つの式で、●は、0より大きい数を表しています。

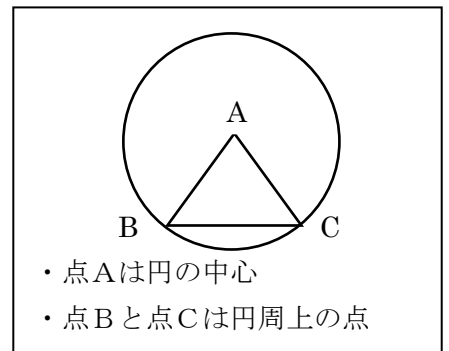
計算の答えが●の表す数より大きくなるものを、下のア～エまでの中からすべて選び、その記号を書きなさい。

ア ● $\times 0.9$ イ ● $\times 1.3$ ウ ● $\div 1.3$ エ ● $\div 0.9$

【3】 右下の図のように、円を使ってかいた三角形ABCは、二等辺三角形になります。

三角形ABCが二等辺三角形になるのは、円にどのような特ちょうがあるからですか。下のア～エまでの中から最もふさわしいものを1つ選んで、その記号を書きなさい。

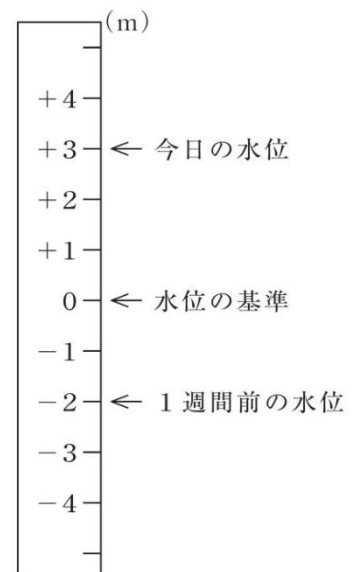
- ア 1つの円の半径の長さは、どれもおなじ長さになる。
- イ 円周の長さは、直径の長さの約3.14倍になる。
- ウ 1つの円の直径の長さは、半径の長さの2倍になる。
- エ 1つの円の直径の長さは、円周上の2つの点を結ぶ直線の中でいちばん長い。



【4】 ダムの水位を、次の図のように0mを基準にして、それより水位が高いときは正の数で、水位が低いときは負の数で表します。

今日の水位は+3mで、1週間前の水位は-2mでした。
今日の水位が1週間前の水位からどれだけ高くなったかを求める式として正しいものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア $(+3) + (-2)$
- イ $(+3) - (-2)$
- ウ $(-2) + (+3)$
- エ $(-2) - (+3)$



平成28年度 C調査問題 中学校1年数学

1年()組()番 氏名()

【5】 a を整数とすると、式 $4a$ で表すことのできる数を、次の中からすべて選びなさい。

-4,	0,	1,	8,	63
-----	----	----	----	----

【6】 一次方程式 $2x = x + 3$ の左辺と右辺それぞれの x に 3 を代入すると、次のような計算をすることができます。

$2x = x + 3$ について $x = 3$ のとき、 (左辺) $= 2 \times 3$ (右辺) $= 3 + 3$ $= 6$ $= 6$	
--	--

このとき、この方程式の解についていえることを、下のアからエまでの中から 1 つ選びなさい。

- ア この方程式の解は 6 である。
- イ この方程式の解は 3 である。
- ウ この方程式の解は 3 と 6 である。
- エ この方程式の解は 3 でも 6 でもない。

【7】 よう子さんたちは、博物館見学のあと、おみやげ売り場に来ています。

この博物館のおみやげ売り場で売られているハンカチ、ボールペン、ノート、消しゴムの定価は、右のとおりです。

よう子さんは、ハンカチ、ボールペン、ノート、消しゴムの中から 2 種類の品物を買おうと思っています。

			
ハンカチ 350 円	ボールペン 280 円	ノート 250 円	消しゴム 200 円

います。使える金額は 500 円です。よう子さんは、次のことに気がつきました。



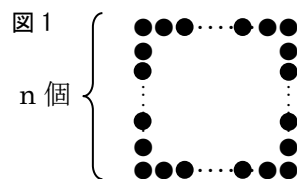
ハンカチを買うと、もう 1 種類の品物が買えません。

ハンカチを買うと、もう 1 種類の品物が買えないわけを、式と言葉を使って書きましょう。

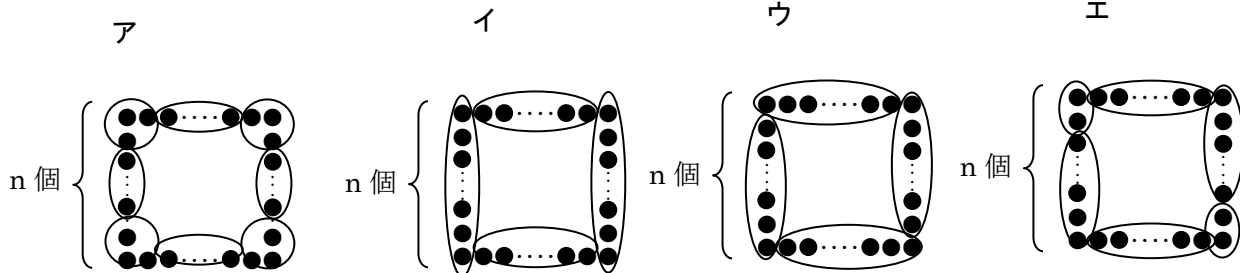
平成28年度 C調査問題 中学校1年数学

1年()組()番 氏名()

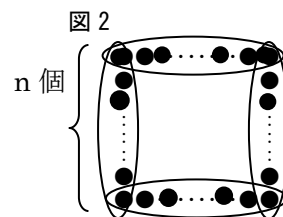
【8】 図1のように、1辺に n 個ずつ^{ごいし}碁石を並べて正方形の形を作り碁石全部の個数を求めます。次の各問いに答えなさい。



(1) 図1で、碁石のまとまりを考えて、ある囲み方をすると、碁石全部の個数は $4(n-1)$ という式で求めることができます。その囲み方が、下のアからエまでの中にあります。正しいものを1つ選びなさい。



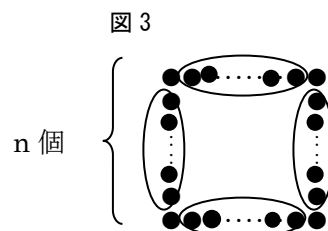
(2) 図2のような囲み方をすると、碁石全部の個数は、 $4n-4$ という式で求めることができます。碁石全部の個数を求める式が $4n-4$ になる理由は、次のように説明できます。



説明

正方形の辺ごとにすべての碁石を囲んでいるので、1つのまとまりの個数は n 個である。同じまとまりが4つあるので、このまとまりで数えた碁石の個数は $4n$ 個になる。このとき、各頂点の碁石を2回数えているので、碁石全部の個数は $4n$ 個より4個少ない。したがって、碁石全部の個数を求める式は、 $4n-4$ になる。

図3のように囲み方を変えてみると、碁石全部の個数は、 $4(n-2)+4$ という式で求めることができます。碁石全部の個数を求める式が $4(n-2)+4$ になる理由について、下の説明を完成しなさい。



説明

正方形の辺ごとに頂点以外の碁石を囲んでいるので、1つのまとまりの個数は、 $(n-2)$ 個である。

(解答用紙に書きなさい)

したがって、碁石全部の個数を求める式は、 $4(n-2)+4$ になる。

平成 28 年度 C 調査問題中学校 1 年数学

解答用紙

正答数

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

問 / 10 問

【1】 (1)	
------------	--

【1】 (2)	
------------	--

【2】	
-----	--

【3】	
-----	--

【4】	
-----	--

【5】	
-----	--

【6】	
-----	--

【7】	わけ
-----	----

【8】 (1)	
------------	--

【8】 (2)	<p>正方形の辺ごとに頂点以外の基石を囲んでいるので、1つのまよりの個数は、$(n-2)$個である。</p> <div style="border: 1px dotted black; height: 150px; width: 100%;"></div> <p>したがって、基石全部の個数を表す式は $4(n-2)+4$ になる。</p>
------------	--

【1】 (1)	5.95
【1】 (2)	$\frac{1}{24}$

【2】	イ, エ
-----	------

【3】	ア
-----	---

【4】	イ
-----	---

【5】	-4, 0, 8
-----	----------

【6】	イ
-----	---

【7】	<p>〈正答例〉</p> <p>1 ハンカチを買うと $500 - 350 = 150$ で、使える金額の残りは 150 円です。残りの 3 種類の品物の中で一番安い消しゴムは 200 円で、150 円よりも高いので、ハンカチを買うと、もう 1 種類の品物を買えません。</p> <p>2 ハンカチともう 1 種類としてボールペンを買うと、合計は $350 + 280 = 630$ 円。ノートだと合計は $350 + 250 = 600$ 円、消しゴムだと合計は $350 + 200 = 550$ 円。どれと組み合わせても、500 円では買えないので、ハンカチを買うと、もう 1 種類の品物を買えません。</p>
-----	--

次の①②③のすべてを書いていること。

①ハンカチを買ったときの残金や、ハンカチともう 1 種類の品物を買ったときの合計代金

②消しゴム (最も安い品物) を買う場合について調べる説明

③数値の大小比較

【8】 (1)	ウ
【8】 (2)	<p>正方形の辺ごとに頂点以外の基石を囲んでいるので、1 つのまよりの個数は、$(n-2)$ 個である。</p> <p>(例) 同じまよりの数が 4 つあるので、このまよりで数えた基石の個数は $4(n-2)$ 個になる。 このとき、頂点の基石を数えていないので、基石全部の個数は、$4(n-2)$ 個より 4 個多い。</p> <p>したがって、基石全部の個数を表す式は $4(n-2) + 4$ になる。</p>

中学校 1 年数学【1】解説シート

◆出題の趣旨

- ・ 小数第 2 位までの減法「(小数) - (小数)」の計算をすることができるかどうかをみる。
- ・ 異分母の分数の減法の計算をすることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

[第 4 学年] A 数と計算

(5) 小数とその加法及び減法についての理解を深めるとともに、小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。

イ 小数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

[第 5 学年] A 数と計算

(4) 分数についての理解を深めるとともに、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。

オ 異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

◆解答類型 (1)

1◎	5.95 と解答しているもの	人	%
2	0.595, 59.5, 595 と解答しているもの		
3	6.22, 0.622, 62.2, 0.622 と解答しているもの		
4	6.15 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

(2)

1	$\frac{1}{24}$ と解答しているもの (大きさの等しい分数を含む)	人	%
◎			
2	$\frac{2}{5}$ と解答しているもの		
3	類型 1 以外で、分母が 24 である分数を解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

- 基礎的な計算技能については、その習熟や維持を図るために、学習する学年以降も適宜練習の機会を設けて継続して指導する必要がある。
- 異分母の分数の減法は、通分して単位をそろえることで、同分母の分数の減法と同じように処理できることを理解することが大切である。解答を誤った生徒には、 $\frac{3}{8}$ と大きさが等しい分数を図などを用いて見付ける活動や、 $\frac{3}{8}$ と $\frac{1}{3}$ の分母が共通な分数を図や数直線などを用いて見付ける活動を取り入れることが考えられる。それらのことから、分数には大きさが等しい分数がいくつもあることや、通分とは分母が違う分数を分母が共通な分数に直すことであることを理解できるように指導することが大切である。

中学校 1 年数学【2】解説シート

◆出題の趣旨

小数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係について理解しているかをみる。

◆学習指導要領との関連

第5学年 A 数と計算

(3) 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。

ア 乗数や除数が整数である場合の計算の考え方基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。

イ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。

◆解答類型

1◎	イ, エ と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	エ と解答しているもの		
4	ア, イ と解答しているもの		
5	ア, ウ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

○数直線や図などを用いたり、具体的な場合に当てはめたりして数量の関係をとらえられるようにして、乗法と積の大きさ、除法と商の大きさの関係を調べる活動を取り入れることが大切である。このことは、数の範囲を負の数まで拡張した場合も大切にしたい。

○問題を解決する際に、有効な手だての一つとして、簡単な場合に置き換えて考えることがある。例えば、本問題の選択肢エの式で簡単に計算ができるように、●に9を当てはめて除数と商の大きさの関係を調べることができる。文字式の指導の場面でも、このように簡単な場合に置き換えて考える活動を通して、生徒が問題を解決する手がかりをもてるようにすることが大切である。

中学校 1 年数学【3】解説シート

◆出題の趣旨

示された三角形が、二等辺三角形になる根拠となる円の性質を、選択することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第3学年 C 図形

(1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、図形について

理解できるようにする。

ア 二等辺三角形，正三角形について知ること。

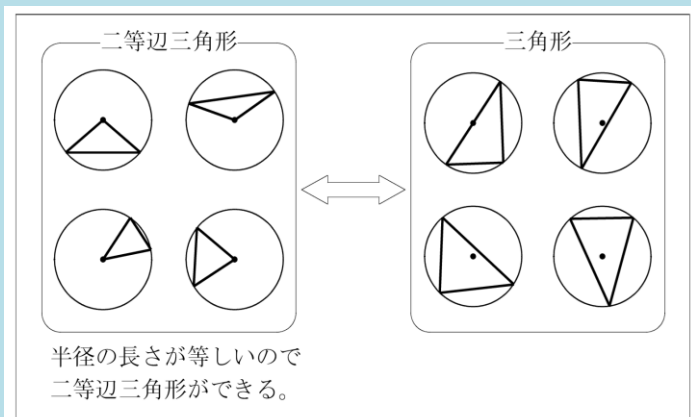
ウ 円，球について知ること。また，それらの中心，半径，直径について知ること。

◆解答類型

1◎	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

○図形を構成するなどの活動を行うことは，子どもにとっては楽しいものである。しかし，図形を構成するねらいや目的が不明確な学習となる場合がある。図形を構成するなどの活動は，図形の性質などを発見したり，それを確かめ表現したりする意義がある。そのため，子どもがねらいをもって活動し，明らかになったことをまとめたり確かめたりすることが大切である。



○指導に当たっては，例えば，上のように，円の中に構成した三角形が二等辺三角形である場合と二等辺三角形でない場合を比較し，なぜ，円の中心と円周上の二点を頂点とした三角形が二等辺三角形になるのかを考え，説明する活動が考えられる。

中学校 1 年数学【4】解説シート

◆出題の趣旨

実生活の場面において，ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第 1 学年 A 数と式

(1) 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し，その四則演算ができるようにするとともに，正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。

ア 正の数と負の数の必要性和意味を理解すること。

エ 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2◎	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されるなどの正の数と負の数の必要性について理解できるようにするために、実生活の様々な場面における数量やその変化を、正の数と負の数を用いて表す場面を設定することが考えられる。その際には、問題場面を図や数直線に表し、判断した式と関連付けて理解できるようにすることが大切である。

中学校 1 年数学【5】解説シート

◆出題の趣旨

文字の値が整数のときに、式の値について考察することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を
培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

◆解答類型

1◎	-4, 0, 8 と解答しているもの	人	%
2	8 と解答しているもの		
3	-4, 8 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

整数、自然数について、互いに比較しながら整理するとともに、式の値については、例えば、 0 は 4×0 というように $4 \times$ (整数) の形で表すことができるので、 0 は a を整数とするとき式 $4a$ で表すことのできる数であることを確かめることが考えられる。

また、いろいろな整数に a を代入して出てくる値が、どれも 4 でわると整数になるが、 1 は 4 でわると整数にならないことを確かめる場面を設定することが考えられる。

中学校 1 年数学【6】解説シート

◆出題の趣旨

一元一次方程式の解の意味を理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(3) 方程式について理解し、一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。

ア 方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解すること。

◆解答類型

		人	%
1	ア と解答しているもの		
2◎	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

方程式の解の意味を理解できるようにするために、様々な数を方程式の文字に代入して解を見つける活動を取り入れることが考えられる。

本問題では、 $2x$ と $x+3$ が相等関係にあることや、左辺と右辺にある x はともに同じ値を表すことを確認することが大切である。その上で、 $2x = x + 3$ を満たす x の値を求めるために、左辺と右辺の x に -2 、 -1 、 0 、 1 、 2 などを代入し、左辺と右辺の値が等しくなるときの x の値を見つける活動を取り入れることが考えられる。その際、 x の値が 3 のときに両辺の値が 6 となって等式が成り立つことから、 3 がこの方程式の解であり、 6 は両辺の式の値であることを理解できるようにすることが大切である。

中学校 1 年数学【7】解説シート

◆出題の趣旨

あたえられた情報を整理したり選択したりして、筋道を立てて考え、示された判断が正しい理由を数学的に表現すること。

◆学習指導要領との関連

第3学年 A 数と計算

(2) 加法及び減法の計算が確実にできるようにし、それらを適切に用いる能力を伸ばす。

イ 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。

◆解答類型

		人	%
	(正答の条件) 次の①, ②, ③の全てを書いている。 ① ハンカチを買ったときの残金や, ハンカチともう1種類の品物を買ったときの合計金額 ② 消しゴム(最も安い品物)を買う場合について調べる説明 ③ 数値の大小比較 (正答例) ・ ハンカチを買うと $500-350=150$ で, 使える金額の残りは150円です。残りの3種類の品物の中で一番安い消しゴムは200円で, 150円よりも高い。だから, ハンカチを買うと, もう1種類の品物を買えない。		
1◎	①, ②, ③のすべてを書いているもの		
2◎	①, ②, ③を書いて, ボールペンを買う場合, ノートを買う場合の両方について調べる説明を書いているもの		
3○	①, ②を書いているもの		
4◎	買うことができる組み合わせが2通りあることを書き, その組み合わせと合計金額, 500円との大小比較を書いているもの		
5○	買うことができる組み合わせが2通りであることを書き, その組み合わせと合計金額を書いているもの		
6	類型1から類型3で, 式の表現や計算などに誤りがあるもの		
7	①を書いて, ボールペンを買う場合, ノートを買う場合の両方, または, いずれか一方について調べる説明を書いているもの		
8	①を書いているもの ②を書いているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

判断の正しさを説明するためには, 問題で問われていることや条件を考慮して, あたえられた情報を整理したり選択したりすることが大切である。また, 言葉や数, 式, 図などを用いて筋道を立てて考えることも大切である。

指導にあたっては, 判断の正しさを説明する場面を意図的に設定することが考えられる。そうした場面で, 自分の説明が理由として十分であるかなどを児童・生徒が意識できるようにすることが考えられる。例えば, 本問題の場合, 「ハンカチを買うと $500-350=150$ で, 使える金額の残りは150円だから。」と説明している児童・生徒には「残りが150円だと, なぜ, もう1種類の品物を買えないのですか。」などと教師が問いかけて, 判断の正しさを説明するためにほかに示すべき事柄を考えたり, 不十分な説明を適切な内容に改善したりする活動を取り入れることが考えられる。

中学校 1 年数学【8】解説シート

◆出題の趣旨

- (1) 数学的に表現された結果を事象に即して解釈することができるかどうかをみる。
 (2) 事象を数学的に表現したり，数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることを通して，事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに，文字を用いた式の計算ができるようにする。
 ア 文字を用いることの必要性和意味を理解すること。

◆解答類型

(1)

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3◎	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

(2)

正答の条件	次の(a), (b)について記述しているもの，または(c)について記述しているもの (a) $(n-2)$ 個のまともりが4つあること。 (b) 基石全部の個数は，4つのまともりと頂点の基石の総数の和であること。 (c) $4(n-2)+4$ と同値な式を示し，その式で基石全部の個数を求められることがすでに問題文で説明されていること。		
1◎	(a), (b)について記述しているもの 例 $(n-2)$ 個のまともりが4つあり，基石全部の個数は $4(n-2)$ 個より4個多い	人	%
2○	(a)についての記述が十分でなく，(b)について記述しているもの 例 基石全部の個数は， $4(n-2)$ 個より4個多い		
3	(a)のみ記述しているもの 例 $(n-2)$ 個のまともりが4つある。		
4◎	(c)について記述しているもの 例 $4(n-2)+4$ を計算すると $4n-4$ になる。図2で基石全部の個数を求められることは説明されており， $4(n-2)+4=4n-4$ となるので。		
5○	(c)について，「基石全部の個数を求められること」，「問題文で説明されていること」のいずれか，またはその両方について記述していないもの 例 $4(n-2)+4=4n-4$ だから。		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

- 事象を数学的に表現したり，数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることができるようにする

事象を数学的に考察できるようにするために，数量の関係や法則などを式に表したり式を事象に即して解釈したりする活動を取り入れることが考えられる。

例えば，本問題を利用して，囲み方の特徴から基石全部の個数を式に表すとともに，式の特徴から囲み方を見いだす活動を取り入れることが考えられる。

- 事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるようにする

事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるようにするために，事柄の意味を事象に即して読み取り，読み取った意味に基づいて，説明する事柄（B）とその根拠（A）を明確に区別し，「（A）であるから，（B）である。」のように的確に表現できるようにすることが考えられる。

例えば，本問題を利用して，囲み方と式 $4(n-2)+4$ を比べて，式の「 $(n-2)$ 」が，「頂点を除いた正方形の一辺の基石の個数」を意味することや，「 $+4$ 」が「数えていない頂点の基石の個数」を意味することなどを読み取る場面を設定することが考えられる。その上で，囲み方に即して，式 $4(n-2)+4$ で基石全部の個数を求められる理由を説明できるようにすることが考えられる。

- 事象を多面的にみることができるようにする

事象を多面的にみるできるようにするためには，問題解決に必要となる視点を明らかにし，それを基に事象を考察し直し，様々な事柄を見いだすとともに，見いだした事柄を基に事象で成り立つ様々な性質や関係を捉える活動を取り入れることが考えられる。

例えば，1辺に n 個ずつ基石を並べた正方形について，辺ごとにすべての基石が囲まれている場合から，「同じまとまりをつくる」ことや「過不足を調べる」ことなどの視点を明らかにし，それを基に，囲み方を工夫し，基石全部の個数を様々な式で表す活動を取り入れることが考えられる。

また， $4(n-2)+4$ を $4(n-1)$ などに変形し，得られた式を事象に即して解釈して，様々な囲み方を見いだす活動を取り入れることも考えられる。

中学校 1 年数学 P 調査問題・全国学力・学習状況調査とのつながり

数学の C 調査問題は、4 月に実施した P 調査問題の結果や全国学力・学習状況調査の早期採点の結果から明らかになった各校の課題が、2 学期までの授業でどのくらい改善できているかを確認できるように作成してあります。

下記のように P 調査問題や全国学力・学習状況調査問題と関連付けてありますので、自校の取組の成果と課題改善のためにご活用ください。

C 調査 問題番号	平成 28 年度 P 調査問題・平成 28 年度全国学力・学習状況調査問題との関連
【1】	P 調査問題 【1】
【2】	P 調査問題 【2】
【3】	P 調査問題 【3】
【4】	全国学力・学習状況調査 数学 A 1 (4)
【5】	中学校 2 年 P 調査問題 【1】
【6】	全国学力・学習状況調査 算数 A 3 (2)
【7】	P 調査問題 【9】
【8】	中学校 2 年 P 調査問題 【9】

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(A)から(E)は、段落を表します。)

A 皆さんは、「犬も歩けば棒にあたる」、「花より団子」、「良薬は口に苦し」といったことわざを聞いたことがありますか。これらは「いろはかるた」に取り上げられているものです。「いろはかるた」は、いろはにほへと ちりぬるを わかよたれそ つねならむ うめのおくやま けふこえて あさきゆめみし ゑひもせす

の四十七字に「京」の字を加えた四十八字を最初の字にしたことわざからできています。四十八のことわざを字札にしたものを読み、ことわざの意味などを表した絵札をとります。

B 江戸時代から遊び道具の一つとして親しまれてきた「いろはかるた」ですが、一つ一つのことわざに着目してみると生活に役立つ知恵が多く含まれていることが分かります。近代の有名な作家である芥川龍之介も、私たちの生活に欠くことのできない思想は、「いろはかるた」に全て盛り込まれているのかもしれないといった内容を書き残しています。子どもにとっては少々難しいことわざでも、遊びを通して楽しみながら身近に感じたり学んだりすることができるのが「いろはかるた」のよさの一つだといえます。

C 「いろはかるた」と一口に言っても、種類ではありません。例えば、同じ「い」で始まることわざでも、「犬も歩けば棒にあたる」、「石の上にも三年」、「一を聞いて十を知る」、「急がば回れ」など、時代や地域によって様々なものを取り上げられています。また、「犬も歩けば棒にあたる」は、生活や社会の状況によって異なる解釈が生まれています。それは、絵札を比較するとよく分かります。

D ところで、皆さんはかるた遊びをしたことがありますか。お正月に家族で楽しめるものの一つとして思い浮かべる人もいるのではないのでしょうか。「いろはかるた」で遊んだ経験はなくても、郷土をテーマにしたかるたや、漫画などのキャラクターが登場するかるたで遊んだことはありませんか。現在は「郷土かるた」や「環境かるた」、「四字熟語かるた」など様々なものがあります。テーマや内容が違っても、絵札と字札という形式で作られていることは共通しています。

E 現代のかるたが「いろはかるた」から受け継いだのは、形式だけではありません。例えば「郷土かるた」で遊ぶことを通して、私たちは生まれ故郷に伝わる昔からの風習や地域の特色などを学んだり、「環境かるた」で遊びながら環境への取り組みを知ったりすることができます。そう考えると、「かるた」は形式とともに、その内容も含めて私たちの生活と密接に関わりながら生き続けていると言えます。

一 この文章の段落相互の関係について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 B 段落は、A 段落の内容と対立する事実を紹介している。
- 2 C 段落は、B 段落で示された意見に対する反論を述べている。
- 3 D 段落は、C 段落までの内容を踏まえて話題を広げている。
- 4 E 段落は、D 段落で示された疑問に対する答えを述べている。

二 この文章を読んで、「かるた」について分かったことの中から、興味をもったことについてさらに調べることにしました。次のア、イ、ウについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。

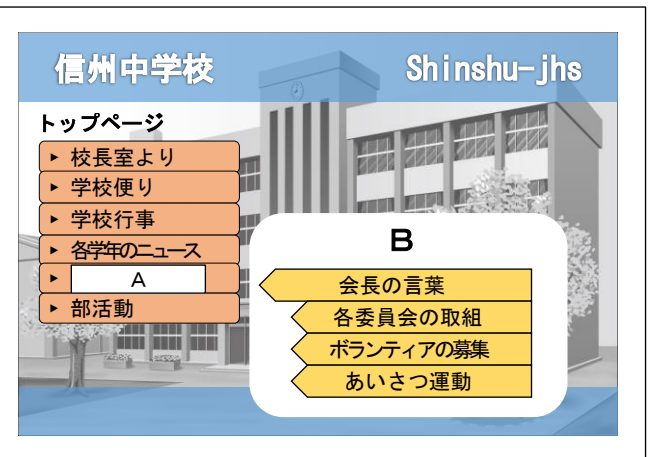
ア この文章を読んで、「かるた」について分かったことを一つ書きなさい。
イ アについて、さらに調べたいことを一つ書きなさい。
ウ イを調べる手段を、次の①から③までの中から一つ選び(どの「調べる手段」を選んでかまいません)、その手段を用いて(どのよう^①にして情報を集めるのか)を二十字以上、五十字以内で書きなさい。なお、「③その他」を選んだ場合は、あなたの考える調べる手段を解^②答用紙の()に書きなさい。

〈調べる手段〉

- ① 学校図書館 ② インターネット ③ その他

③ 田中さんは、信州中学校のウェブページを作成しています。次は、「ウェブページの一部」です。これを見て、あとの問いに答えなさい。

【ウェブページの一部】



【行事の記録】の一部

「職場体験講演会で学んだこと」
6月6日、2年生が体育館に集まって、松本ベーカーリーの店長さんからお話を聞きました。^①高村先生が、
店長さんを先導し、体育館に入場しました。(中略)
店長さんのお話はどれも大切なことばかりだったので、^②忘れないようにしようと思いました。

一 【ウェブページの一部】の A の部分をクリックすると、B のような項目が現れるようにしたいと考えています。A の項目名として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 年間の予定 2 本校までの案内
3 授業の様子 4 生徒会活動

二 田中さんは、ウェブページの各学年のニュースに掲載するため【行事の記録】をまとめています。掲載するに当たって、一線部①を「店長さんが」を主語にして一文で書き直そうと思います。
【書き直した一文】の [] の中に入るものとしてふさわしい内容を、意味を変えないようにして書きなさい。なお、「先導」という言葉はそのまま用いること。

【書き直した一文】

店長さんが、 [] 、体育館に入場しました。

三 田中さんは、読み手に印象深く伝えるために、一線部②「忘れないようにしようと思いました」を次のように書き直そうと思います。次の()に当てはまる言葉を考えて、**五字以内**で書きなさい。

心に() () と思いました

二年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

1

3

正答例

正答数

問/10問

一

二例

本	に	対	す	る	興	味
				5		8

三例

全	校	生	徒	に	読	み	た	い	本	の	ア	ン	ケ	ー
入	れ	れ	ば	い	い	と	思	い	ま	す	。			45
				35										
ト	を	と	っ	て	、	上	位	の	本	を	図	書	室	に

2

3

二

ア例

同じ「いろはかるた」でも、時代や地域によって、取り上げられていることわざに違うものがあることが分かった。

イ例

「い」以外の文字が始まることわざについても、取り上げられていることわざに違いがあるかどうかを調べたい。

← 選んだへ調べる手段 一つに○を付けなさい

ウへ調べる手段

①

②

③

※③を選んだ場合は、左に調べる手段を書きなさい

へどのようにして情報を集めるのか

。	に	い	百
	関	て	科
	す	調	事
	る	べ	典
50	本	た	で
	が	り	「
	あ	、	い
	れ	「	ろ
	ば	い	は
	借	ろ	か
	り	は	る
	た	か	た
	り	る	「
	す	た	に
	る	「	っ

3

4

二例

高村先生に先導されて

三例

刻
も
う

中学校 2 年国語 1 解説シート

◆出題の趣旨

話し合いをする際に、話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たすことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。

◆解答類型

問題番号	解答類型		人	%	
1	一	1◎	3と解答しているもの		
		9	3以外を解答しているもの		
		0	無解答		
	二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ①佐藤さんと横山さんの発言に共通している「本への興味」についてまとめている。 ②5字以上, 8字以内で書いている。 ~~~~~ (正答例) ・本に対する興味(7字)			
		1◎	条件①②を満たしているもの		
		2	条件①は満たしているが, 条件②は満たしていないもの (例)本の興味(4字)→文字数が5字を超えていない。		
		3	条件②は満たしているが, 条件①は満たしていないもの (例)図書館に行かない(8字)→「本への興味」についてまとめていない。		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
		三	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ①「アンケート」という言葉を使って, 興味のもてる本を図書室に入れるための対策を書いている。 ②35字以上, 45字以内で書いている。 ~~~~~ (正答例) ・全校生徒に読みたい本のアンケートをとって, 上位の本を図書室に入れればよいと思います。(42字)		
	1◎		条件①②を満たしているもの		
	2		条件①は満たしているが, 条件②は満たしていないもの (例)今話題の本から生徒に読んでほしい本を先生が選んで, 図書室に入れればよいと思います。(41字)→「アンケート」という言葉を入れていない。		
	3		条件②は満たしているが, 条件①は満たしていないもの (例)アンケートをとって, 好きな本を図書室に入れればよいと思います。(31字)→35字以上, 45字以内でまとめていない。		
	9		上記以外の解答		
	0		無解答		

◆学習指導に当たって

○状況に応じて司会の役割を果たす

司会を立てて話し合いを行う場合は、話し合いの目的に応じて、司会の役割を意識できるように指導する必要がある。そのためには、具体的な場面を設定して、進行の仕方や参加者への声の掛け方など、司会の果たす役割を考えさせることが大切である。例えば、複数の意見の中から一つに絞り込む際には、司会としてそれぞれの意見の長所・短所を整理したり、話し合いの目的や踏まえるべき条件を確認したりする発言が必要である。

指導に当たっては、ビデオカメラやタブレット型PCを活用するなどして、話し合いの過程を動画で記録し、振り返る場を設定することが有効である。なお、話し合いにおける司会の役割には以下のようなものが考えられる。

司会の役割と具体的な発言例

①発言の内容を整理する

「今の〇〇さんの考えは、……ということですね。」

②理由や根拠を明確にする

「〇〇さんが……と考えているのはなぜですか。」

③他の意見を求める

「〇〇さんの発言に関連する意見はありますか。」

④出された意見を比較・検討する

「それぞれの意見には、どのような長所と短所がありますか。」

⑤結論を確認する

「……については、～～することに決まりました。」

(参照)

「平成 25 年度 全国学力・学習状況調査 報告書【中学校 国語】」P24～26

「平成 25 年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた 授業アイデア例」P7

中学校 2 年国語 2 解説シート

◆出題の趣旨

説明的な文章を読んで、段落相互の関係を理解し、文章の展開を捉えたり、課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えたりすることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第1学年〕 C 読むこと

エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。

カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。

◆解答類型

問題番号	解答類型		人	%	
2	一	1◎	3と解答しているもの		
		9	3以外を解答しているもの		
		0	無解答		
	ニア	1◎	この文章を正しく理解した上で、「かるた」について分かったことを一つ書いているもの		
		9	上記以外を解答しているもの		
		0	無解答		
		(正答例) 同じ「いろはかるた」でも、時代や地域によって、取り上げられていることわざに違うものがあることが分かった。			
	ニイ	1◎	ニアについて、さらに調べたいことを一つ書いているもの		
		9	上記以外を解答しているもの		
		0	無解答		
	(正答例) 「い」以外の文字で始まることわざについても、取り上げられていることわざの違いがあるのかどうかを調べたい。				
	ニウ	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している ①ニウの①から③までの中のいずれか一つの〈調べる手段〉を選んで、その記号に○を付けている。 ※③を選んだ場合は()の中に調べる手段を書いている。 ②ニウに、選んだ手段を用いて〈どのようにして情報を集めるのか〉を書いている。 ③20字以上、50字以内で書いている。			
		(正答例) 〈調べる手段〉① 学校図書館 百科事典で「いろはかるた」について調べたり、「いろはかるた」に関する本があれば借りたりする。(46字)			
		1◎	条件①②③を満たしているもの		
		2	条件①②は満たしているが、条件③は満たしていないもの		
		3	条件①は満たしているが、条件②③は満たしていないもの		
		4	条件①②③を満たしていないもの		
		9	上記以外を解答しているもの		
0		無解答			

◆学習指導にあたって

○段落ごとの内容を捉え、段落相互の関係を理解する

説明的な文章を読む際には、論理の展開の仕方を理解するために、それぞれの段落の内容を適切に捉え、段落相互の関係を理解することが大切である。例えば、段落の内容を適切に要約して前後の段落とのつながりを確認した上で、文章全体の中での各段落の役割を捉える学習活動が考えられる。

○文章を読んで新たな課題を見いだす

文章を読んで、ものの見方や考え方を広げるには、読んで理解したことの中から興味や関心を広げ、新たな課題を見いだすように読む必要がある。そのためには、文章を読んで理解でき

たこと、疑問点や関心をもったことなどを整理することが大切である。その上で、ものの見方や考え方を広げる課題かどうか、解決の見通しがあるかどうかなどを助言し合うような学習活動が考えられる。

○調べる手段の特徴を理解し、見通しをもって情報を集める

課題を解決するために情報を収集する際には、情報を収集する手段の特徴を理解し、自分の課題の解決に適した手段を選ぶ必要がある。例えば、自分の課題を解決する具体的な手順を考え、それについて検討し合うなどの学習活動が考えられる。その際、情報を収集する複数の手段を用いて、それぞれの手段の特徴について考える場面を設定することが大切である。

(参照)

「平成 25 年度 全国学力・学習状況調査 報告書【中学校 国語】」P60～65

中学校 2 年国語 3 解説シート

◆出題の趣旨

集めた材料を分類するなどして整理したり、叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換えたりすることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第 1 学年〕 B 書くこと

- ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。
- イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。
- エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。

◆解答類型

問題番号	解 答 類 型		人	%
-	1◎	4 と解答しているもの		
	9	4 以外を解答しているもの		
	0	無解答		
3	二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ①店長さんが高村先生に先導されていることが分かるように書いている。 ②「店長さんが、」と「、体育館に入場しました。」が適切に続くように書いている。 ※「先導」という言葉を用いていないものは、解答類型 9 とする。 (正答例) (店長さんが,) 高村先生に先導されて (, 体育館に入場しました。)		

3	二	1◎	条件①②を満たしているもの			
		2	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの (例) 高村先生に先導されている →前後に適切に続くように書いていない。			
		3	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの (例) 高村先生を先導して →先導される立場が逆になっている。			
		9	上記以外の解答			
		0	無解答			
	三	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している ①「忘れないようにしましょう」を表す表現を適切に書いている。 ②「心に」「と思いました。」に適切に続くように、5字以内で書いている。 //////////////////////////////////// (正答例) (心に) 刻もう (と思いました。)				
		1◎	条件①②を満たしているもの			
		2	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの (例) 強く残しておこう →5字を超えている。			
		3	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの (例) もらおう →「忘れないようにしましょう」を適切に表現していない。			
		9	上記以外の解答			
0		無解答				

◆学習指導にあたって

○集めた材料を分類するなどして整理する

紹介や報告をする文章を書く際には、相手や目的、方法などを意識し、書く材料を分類するなどして、整理して伝えることが大切である。例えば、伝えたい事柄の関連を考えて分類し、まとまりごとに見出しをつける学習活動などが考えられる。その上で、新たな情報について、どの項目に含まれるかを検討したり、項目を示す順序を考えたりする学習活動も効果的である。また、このような情報の分類の仕方を自校のウェブページに当てはめて、具体的な発信の方法を考えるような学習活動も有効である。

○叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換える

紹介や報告の文章を書く際には、中心になる事柄が明確になっているかどうかという観点で書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめることが大切である。その上で、必要に応じて適切に書き換える力を身に付ける必要がある。例えば、同じ事柄について主語が異なる二つの文を示し、主語に応じて変わる部分を確認したり、読み手の立場になって伝わり方の違いを比べたりする学習活動が考えられる。その際、小学校学習指導要領の〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕における、語句に関する事項の指導を踏まえることが重要である。

(参照)

「平成26年度 全国学力・学習状況調査 報告書【中学校 国語】」P24～27

「平成23年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた 授業アイデア例」P5, 6

中学校 2 年国語「P 調査問題」「全国学力・学習状況調査」とのつながり

国語の C 調査問題は、4 月に実施した P 調査問題の結果や全国学力・学習状況調査の早期採点の結果から明らかになった各校の課題が、2 学期までの授業でどのくらい改善できているかを確認できるように作成してあります。

下記のように P 調査問題や全国学力・学習状況調査問題と関連付けてありますので、自校の取組の成果と課題改善のためにご活用ください。

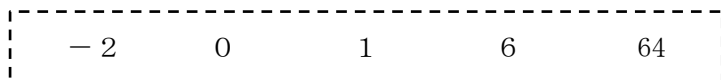
C 調査 問題番号	平成 28 年度 P 調査問題・平成 28 年度全国学力・学習状況調査問題との関連
1	P 調査問題 1 全国学力・学習状況調査 国語 A 5 二
2	P 調査問題 3 全国学力・学習状況調査 国語 A 6 8 国語 B 1 二 2 一三 3 二三
3	P 調査問題 2 全国学力・学習状況調査 国語 A 2 二 4 二 国語 B 3 三

平成 28 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 (1)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

※答えはすべて解答用紙に書きなさい。

- 【1】 a を整数とするとき、式 $3a + 1$ で表すことのできる数を、次の中からすべて選びなさい。



- 【2】 黒い紙テープと白い紙テープの長さについて、次のことがわかっています。

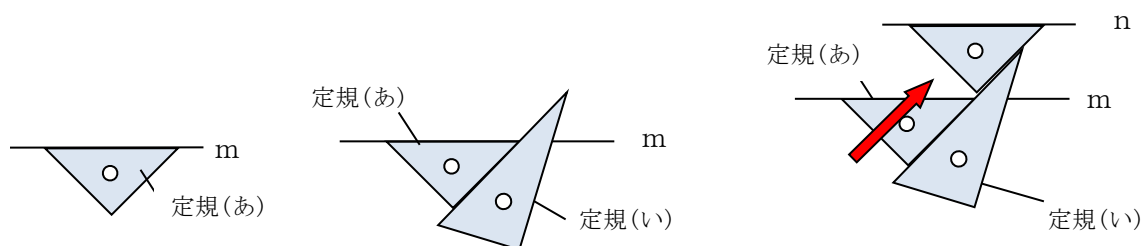
黒い紙テープの長さは x cm です。

黒い紙テープの長さは、白い紙テープの長さの $\frac{3}{7}$ 倍です。

白い紙テープの長さは何 cm ですか。 x を用いた式で表しなさい。

- 【3】 連立方程式 $\begin{cases} 4x + 2y = 5 \\ x + y = 2 \end{cases}$ を解きなさい。

- 【4】 下の①, ②, ③の手順で、直線 m に平行な直線 n をひきます。



① 直線 m に合わせて、定規 (あ) を置く。

② 定規 (あ) に合わせて、定規 (い) を置く。

③ 定規 (い) を動かさずに、定規 (あ) を定規 (い) に沿って動かし、直線 n をひく。

上の①, ②, ③の手順では、直線 m に対する平行な直線 n をどのような事柄を根拠にしてひいていますか。下のア～エまでの中から正しいものを 1 つ選びなさい。

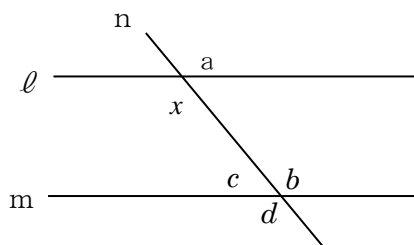
- ア 1 つの直線に垂直な 2 直線は平行である。
- イ 1 つの直線に平行な 2 直線は平行である。
- ウ 2 直線に 1 つの直線が交わるとき、錯角が等しければ、2 直線は平行である。
- エ 2 直線に 1 つの直線が交わるとき、同位角が等しければ、2 直線は平行である。

平成 28 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 (2)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

- 【5】 下の図で、平行な 2 つの直線 ℓ , m に 1 つの直線 n が交わっています。
このとき、 $\angle x$ の同位角について、下のア～オまでの中から正しいものを 1 つ選びなさい。

- ア $\angle x$ の同位角は $\angle a$ である。
イ $\angle x$ の同位角は $\angle b$ である。
ウ $\angle x$ の同位角は $\angle c$ である。
エ $\angle x$ の同位角は $\angle d$ である。
オ $\angle x$ の同位角は $\angle a$ から $\angle d$ までの中にはない。



- 【6】 ある学級で、「対頂角は等しい」ことの証明について、次の①、②を比べて考えています。

①

下の図のように直線 ℓ と直線 m が交わっているとき、

$\angle a = 180^\circ - \angle c$ $\angle b = 180^\circ - \angle c$

よって、 $\angle a = \angle b$
したがって、対頂角は等しい。

②

下の図のように直線 ℓ と直線 m が交わっているとき、
2 つの角の大きさをそれぞれ測ると、

$\angle a = 60^\circ$ $\angle b = 60^\circ$

よって、 $\angle a = \angle b$
したがって、対頂角は等しい。

2 つの直線がどのように交わっても「対頂角は等しい」ことの証明について、正しく述べたものが下のアからオまでの中にあります。それを 1 つ選びなさい。

- ア ①も②も証明できている。
イ ①は証明できており、②は 2 つの直線の交わる角度をいろいろに変えて同じように確かめれば証明したことになる。
ウ ①は証明できているが、②は 2 つの直線の交わる角度をいろいろに変えて同じように確かめても証明したことになる。
エ ①も②も 2 つの直線の交わる角度をいろいろに変えて同じように確かめれば証明したことになる。
オ ①は 2 つの直線の交わる角度をいろいろに変えて同じように確かめれば証明したことになるが、②はそれでも証明したことになる。

- 【7】 グラフの傾きが -2 である一次関数の式を、下のア～オまでの中から 1 つ選びなさい。

ア $y = -2$ イ $y = 2x$ ウ $y = 3x - 2$ エ $y = -2x + 2$ オ $y = -\frac{2}{x}$

平成 28 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 (3)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

【8】 下のアからエまでの表は、 y が x の一次関数である関係を表しています。この中から、変化の割合が 2 であるものを 1 つ選びなさい。

ア

x	… -3 -2 -1 0 1 2 3 …
y	… -2 -1 0 1 2 3 4 …

ウ

x	… -6 -4 -2 0 2 4 6 …
y	… -4 -3 -2 -1 0 1 2 …

イ

x	… -3 -2 -1 0 1 2 3 …
y	… -3 -1 1 3 5 7 9 …

エ

x	… -6 -4 -2 0 2 4 6 …
y	… -7 -4 -1 2 5 8 11 …

【9】 連続する 3 つの整数の和がどんな数になるかを調べます。

1, 2, 3 のとき $1 + 2 + 3 = 6 = 3 \times 2$

3, 4, 5 のとき $3 + 4 + 5 = 12 = 3 \times 4$

10, 11, 12 のとき $10 + 11 + 12 = 33 = 3 \times 11$

これらの結果から、次のように予想できます。

予想

連続する 3 つの整数の和は、中央の整数の 3 倍になる。

次の (1), (2) の各問に答えなさい。

(1) 予想がいつでも成り立つことを説明します。下の説明を完成しなさい。

説明

連続する 3 つの整数のうち最も小さい整数を n とすると、連続する 3 つの整数は、 n , $n + 1$, $n + 2$ と表される。それらの和は、

$$n + (n + 1) + (n + 2) =$$

(解答用紙に書きなさい)

(2) 連続する 3 つの整数を、連続する 5 つの整数に変えた場合、その和がどんな数になるかを調べます。

1, 2, 3, 4, 5 のとき $1 + 2 + 3 + 4 + 5 = 15$

5, 6, 7, 8, 9 のとき $5 + 6 + 7 + 8 + 9 = 35$

14, 15, 16, 17, 18 のとき $14 + 15 + 16 + 17 + 18 = 80$

連続する 5 つの整数の和は、中央の整数に着目すると、どんな数になると予想できますか。予想のように、「～は、…になる。」という形で書きなさい。

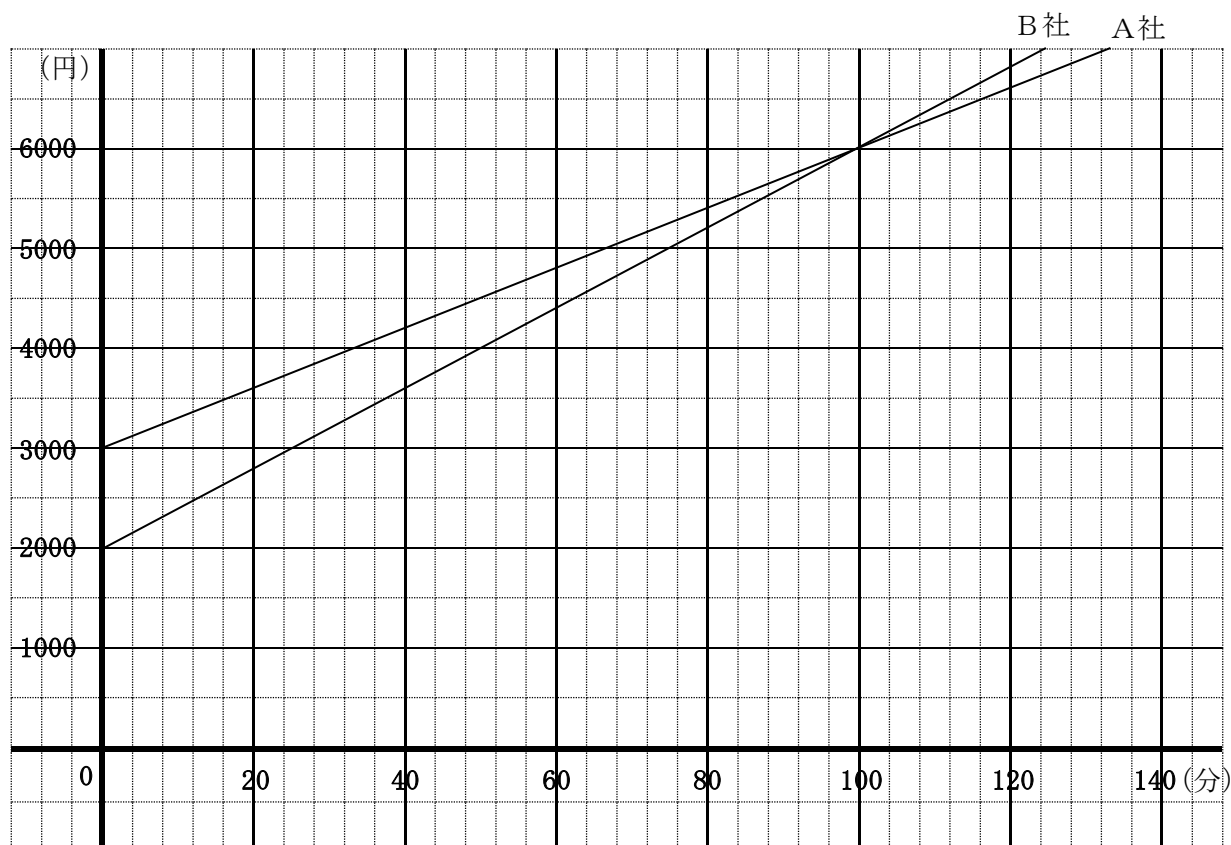
平成 28 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 (4)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

- 【10】 下のグラフは、携帯電話会社の A 社、B 社の通話時間と支払料金の関係をグラフに表したものです。A 社も B 社も、基本料金 (まったく通話しなくても支払わなければならない料金) と通話時間に比例してかかる通話料金の合計が支払料金となります。

A 社は、月額の基本料金が 3000 円で、60 分通話すると 1800 円の通話料金がかかり、その月の支払料金は 4800 円となります。B 社は、月額の基本料金が 2000 円で、60 分通話すると 2400 円の通話料金がかかり、その月の支払料金は 4400 円となります。

次の (1) , (2) の問いに答えなさい。



- (1) 通話時間を x 分、支払料金を y 円として、B 社について y を x の式で表しなさい。
- (2) 1 ヶ月の平均通話時間が 80 分のとき、支払料金を安くするには、A 社、B 社の 2 社のうち、どちらの会社の携帯電話を選んだ方がよいでしょうか。その理由を 2 つの会社のグラフを比較して、説明しなさい。

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

3 つ, すべて書いて正答。足りない, 余分なものがあるものは×。

正答数

問/12 問

【1】 - 2, 1, 64

【2】 $\frac{7}{3}x$ cm

【3】 $x = \frac{1}{2}$
 $y = \frac{3}{2}$

両方でき
て正答。(1)

【4】 エ

【5】 エ

【6】 ウ

【7】 エ

【8】 イ

連続する 3 つの整数のうち最も小さい整数を n とすると, 連続する 3 つの整数は, $n, n+1, n+2$ と表される。それらの和は,

$$\begin{aligned} & n + (n + 1) + (n + 2) \\ &= n + n + 1 + n + 2 \\ &= 3n + 3 \\ &= 3(n + 1) \end{aligned}$$

$n + 1$ は中央の整数だから,
 $3(n + 1)$ は中央の整数の
3 倍である。

したがって, 連続する 3 つの整数の和は, 中央の整数の 3 倍になる。

【9】 (2) 連続する 5 つの整数の和は, 中央の整数の 5 倍になる。②

- ① 「連続する 5 つの整数の和」と記述
 - ② 「中央の整数の 5 倍」または「5 の倍数」または「中央の整数の倍数」
- ①②が書いてあれば正答。
(同じ意味ならば言葉は違ってよい。)

【10】 (1) $y = 40x + 2000$

【選んだ会社…B社】

【説明】

$x = 80$ のとき, A社よりもB社のグラフの
y の値が小さいので, B社の方が, 料金は
安い。よって, B社を選んだ方がよい。

【10】 (2)

- ① 80 という数値や 80 分という記述
 - ② グラフにおける y の値で A と B を比較する記述
(例; A社よりB社のグラフの y の値が小さい。
; B社よりA社のグラフの y の値が大きい。)
- ①②が書いてあれば正答。
(同じ意味ならば言葉は違ってよい。)

①

平成 28 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 解答用紙

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

正答数

問 / 12 問

【1】	
-----	--

【2】	cm
-----	----

【3】	$x =$ <hr style="border: 0; border-top: 1px dotted black;"/> $y =$
-----	---

【4】	
-----	--

【5】	
-----	--

【6】	
-----	--

【7】	
-----	--

【8】	
-----	--

【9】 (1)	連続する 3 つの整数のうち最も小さい整数を n とすると、連続する 3 つの整数は、 n 、 $n + 1$ 、 $n + 2$ と表される。それらの和は、 $n + (n + 1) + (n + 2) =$
------------	--

【9】 (2)	
------------	--

【10】 (1)	
-------------	--

【10】 (2)	【選んだ会社… 社】 【説明】
-------------	------------------------

中学校 2 年数学【1】解説シート

◆出題の趣旨

文字の値が整数の時に、式の値について考察することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

◆解答類型

1◎	-2, 1, 64 と解答しているもの	人	%
2	64 と解答しているもの		
3	-2, 64 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

- 数の範囲に基づいて式の値について考察できるようにしましょう。

整数、自然数について、互いに比較しながら整理するとともに、式の値については、例えば、1は、 $3 \times 0 + 1$ というように $3 \times (\text{整数}) + 1$ の形で表すことができるので、 $3a + 1$ で表すことのできる数であることを確かめたり、 $3a + 1$ は、「3の倍数+1」を表す式であることから、示された数が3の倍数に1を加えたものになっているかを確かめたりする場面を設定することが考えられます。

中学校 2 年数学【2】解説シート

◆出題の趣旨

数量の関係を文字で表すことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。

◆解答類型

1◎	$7/3x$ cm と解答しているもの	人	%
2	黒いテープ $\div 7/3$ と解答しているもの		
3	$3/7x$ cm と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

○ 事柄や数量の関係を捉え、その関係を文字式に表すことができるようにしましょう。

数量の関係を図に表したり、具体的な数や言葉を使った式を利用したりして関係を捉え、関係を文字式に表すことができるように指導することが大切である。

本設問を使い、黒い紙テープの長さは白い紙テープの長さを基準に示されていることを確認し、黒い紙テープの長さを具体的な数で表したり、線分図に表したりして、黒い紙テープと白い紙テープの関係を言葉や式に表す活動を取り入れることが考えられる。

中学校 2 年数学【3】解説シート

◆出題の趣旨

簡単な方程式(一元一次方程式、連立方程式、二次方程式)を解くことができるかどうかをみる。

・簡単な連立方程式を解くことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

(2) 連立二元一次方程式について理解し、それをを用いて考察することができるようにする。

ウ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。

◆解答類型

1◎	$x=1/2, y=3/2$ と解答しているもの	人	%
2	x の値のみ正しく解答しているもの		
3	y の値のみ正しく解答しているもの		
4	$x=3/2, y=1/2$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

様々な連立二元一次方程式を工夫して解くことができるようにしましょう。

連立二元一次方程式を解けるようにするために、与えられた式の形に応じて適切な方法を選択する場面を設定することが考えられます。その際、2つの文字のうち一方の文字を消去して一元一次方程式に帰着させればよいという考え方を理解し、加減法や代入法を用いて工夫して解くことができるようにすることが大切です。

例えば、加減法や代入法を用いて解き、それぞれの解き方を比較して、加減法と代入法に共通する考えを理解したり、それぞれの解き方のよさを実感したりすることができる場面を設定することが考えられます。

なお、解が分数になる連立二元一次方程式を解くことは、道のり、時間、速さを取り上げた身近な事象の問題などを解く際に必要です。

中学校 2 年数学【4】解説シート

◆出題の趣旨

事象の根拠となる数学的な性質を見いだすことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 B 図形

(1) 観察，操作や実験などの活動を通して，基本的な平面図形の性質を見だし，平行線の性質を基にしてそれらを確認することができるようにする。

ア 平行線や角の性質を理解し，それに基づいて図形の性質を確認説明すること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4◎	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

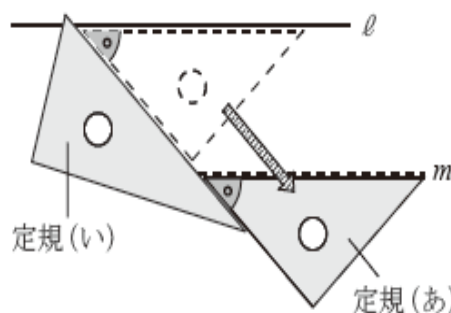
◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

作図の方法を図形の性質(平行線と角についての性質)に着目して見直すことができるようにしましょう。

例えば，2枚の三角定規を使って平行線をひく場面で，直線 l に対し直線 m が平行であることをの根拠として，平行線になるための条件「2直線に他の直線が交わってできる同位角が等しければ，この2直線は平行である。」が用いられていることを理解できるようにすることが大切です。

ここでは，三角定規の1つの角に着目し，動かす前と後の位置がそれぞれ三角定規を使ってひいた2直線の同位角であることを見いだせるようにすることが必要です。



また，平行になることの根拠として，平行線の性質「平行な2直線に他の直線が交わったときにできる同位角は等しい。」を用いる生徒がいると考えられるので，平行線の性質と平行線になるための条件を適切に用いることができるようにすることも大切です。

同様なことは平行四辺形の性質と平行四辺形になるための条件など他の場面でもいえるので，図形の性質を考察する際には，図形について成り立つ性質と図形になるための条件を適切に用いることができるようにしましょう。

中学校 2 年数学【5】解説シート

◆出題の趣旨

同位角の意味を理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連第

2 学年 B 図形

(1) 観察，操作や実験などの活動を通して，基本的な平面図形の性質を見だし，平行線の性質を基にしてそれらを確認することができるようにする。

ア 平行線や角の性質を理解し，それに基づいて図形の性質を確認説明すること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4◎	エ と解答しているもの		
5	オ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

2 直線に 1 直線が交わってできる角について理解できるようにしましょう。

具体的な図を用いて，もとの角を変えながら，錯角や同位角，対頂角を答える場を設定し，角の名称と位置関係を正しく理解できるようにすることが必要です。

中学校 2 年数学【6】解説シート

◆出題の趣旨

証明の必要性と意味を理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第 2 学年 B 図形

(1) 観察，操作や実験などの活動を通して，基本的な平面図形の性質を見だし，平行線の性質を基にしてそれらを確認することができるようにする。

ア 平行線や角の性質を理解し，それに基づいて図形の性質を確認説明すること

(2) 図形の合同について理解し図形についての見方を深めるとともに，図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ，論理的に考察し表現する能力を養う。

イ 証明の必要性と意味及びその方法について理解すること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3◎	ウ と解答しているもの		

4	エ と解答しているもの		
5	オ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

帰納と演繹の違いを理解し、証明の必要性と意味についての理解を深められるようにしましょう。

帰納的な方法でいくつかの図について「対頂角は等しい」ことを確かめても、その事柄が成り立つ信頼性は高まるが、すべてを調べつくすことはできないことから、演繹的な推論による証明が必要であることを理解できるようにすることが大切です。

中学校 2 年数学【7】解説シート

◆出題の趣旨

関数についての用語の意味を理解しているかどうかをみる。

- 傾きが a である一次関数の式は $y = ax + b$ で表されることを理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 C 関数

- (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。
- イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4◎	エ と解答しているもの		
5	オ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

一次関数の式の特徴を表やグラフと関連付けて理解できるようにしましょう。

一次関数を式で表すことができるようにすることが大切です。例えば、傾きが a 、切片が b である一次関数の式は $y = ax + b$ で表されることや、傾きや切片の意味の理解を深める場面を設定することが考えられます。また、表、式、グラフを相互に関連づけながら、傾きや切片の意味を確認する活動を通して、一次関数の式の特徴を理解できるように指導することも考えられます。その上で、比例、反比例の式と一次関数の式を比べることによって、比例、反比例、一次関数について学び直す機会を設定することが考えられます。

中学校2年数学【8】解説シート

◆出題の趣旨

一次関数において、変化の割合の意味を理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 C 関数

- (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。
- イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2◎	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

一次関数の変化の割合の意味を理解し、それを求めることができるようにしましょう。

表における x , y の値の変化の様子を調べ、変化の割合の意味を理解できるようにすることが考えられます。例えば、一次関数 $y = 2x + 3$ について、 x の値を1ずつ、2ずつ、3ずつ増やした場合の表を作り、それぞれの表において y の増加量を調べる活動を取り入れ、変化の割合は、 x の増加量が1以外の場合でも $(y \text{ の増加量}) / (x \text{ の増加量})$ で求めることができるように指導することが大切です。

中学校2年数学【9】解説シート

◆出題の趣旨

見いだされた事柄について、事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明したり、発展的に考え、予想した事柄を説明したりすることができるかどうかをみる

◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

- (1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。
- イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。
- ウ 目的に応じて、簡単な式を変形すること。

◆解答類型（1）

(正答の条件)				
<p>< $3(n+1)$ と計算している場合 > 次の(a), (b)を記述している。 (a) $n+1$ が中央の整数だから, (b) $3(n+1)$ は中央の整数の3倍である。</p> <p>< $3n+3$ と計算している場合 > 次の(c), (d), (e)を記述している。 (c) $3n+3$ が $n+1$ の3倍になることを示している。 (d) $n+1$ は中央の整数だから, (e) $3n+3$ は中央の整数の3倍である。</p>				
1◎	$3(n+1)$	(a), (b) の両方を記述しているもの	人	%
2○		(a), (b) のどちらか一方を記述しているもの		
3○		(a), (b) の両方を記述していないが, 中央の整数の3倍であることを示していると判断できるもの		
4		(a), (b) の記述に誤りがあるもの		
5◎	$3n+3$	(c), (d), (e) の全てを記述しているもの		
6○		(c)と(d), (c)と(e), または(c)のみを記述しているもの		
7		次のいずれかの場合に当てはまるもの <ul style="list-style-type: none"> ・ (d) と (e) を記述しているもの ・ (d) のみを記述しているもの ・ (e) のみを記述しているもの ・ (c), (d), (e) を記述していないもの 		
8		(c), (d), (e) の記述に誤りがあるもの		
9		上記以外の解答		
0		無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆解答類型（2）

(正答の条件)			
<p>「○○は, ◇◇になる。」という形で, 次の(a), (b)または(a), (c)の条件を満たし, 成り立つ事柄を記述している。 (a) ○○が, 「連続する5つの整数の和」である。 (b) ◇◇が, 「中央の整数の5倍」である (c) ◇◇が, 「5の倍数」または「中央の整数の倍数」である。</p>			
1◎	(a), (b) の条件を満たしているもの	人	%
2○	(a)に関する記述が十分でなく, (b)の条件を満たして記述しているもの		
3	(a)に関する記述がなく, (b)の条件を満たして記述しているもの		
4◎	(a), (c) の条件を満たしているもの		
5○	(a)に関する記述が十分でなく, (c)の条件を満たして記述しているもの		
6	(a)に関する記述がなく, (c)の条件を満たして記述しているもの		

7〇	(a)の条件を満たし、(b)、(c)以外に成り立つ事柄を記述しているもの		
8	「〇〇は、◇◇になる。」という形で(a)の条件を満たし、成り立たない事柄を記述しているもの。		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

事柄が成り立つ理由を、構想を立てて、根拠を明確にして説明できるようにしましょう。

事柄が一般的に成り立つ理由を、構想を立てて説明できるようにするために、文字式や言葉を用いて解決するための見通しをもち、根拠を明らかにする場面を設定することが考えられます。

例えば、本問題を利用して授業を行う際には、 $3n + 3$ という表現にとどまっているものを取り上げ、この式が中央の整数の3倍であることを説明するために、 $3n + 3$ を $3(n + 1)$ と変形する場面を設定することが考えられます。

事柄やその説明を基に発展的に考え、見いだした事柄を数学的に表現できるようにしましょう。

事柄やその説明を基に発展的に考え、見いだした事柄を数学的に表現できるようにするために、問題の条件を変えるなどして、見いだした事柄の前提に当たる部分と、それによって説明される結論を明確にして表現する場面を設定することが考えられます。

例えば、本問題を利用して授業を行う際には、「連続する3つの整数の和は、中央の整数の3倍になる。」という命題について、その前提に含まれる「3つ」、「整数」などに着目し、これらを「5つ」、「偶数」などに変えると結論がどのように変わるかを考察する活動を取り入れることが考えられます。

中学校2年数学【10】解説シート

◆出題の趣旨

2つのグラフの様子を的確にとらえ、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 C 関数

(1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。

イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。

エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。

◆解答類型

(1)

1◎	$y=40x+2000$ と解答しているもの	人	%
2	$y=30x+1800$ と解答しているもの		
3	$y=\frac{8}{25}x+2000$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

(2) (①, ②は, 右の正答の条件による)

1◎	B社を選択し, ①, ②について記述しているもの (結論はなくてもよい。以下同様。)	人	%
2	グラフに着目して記述しているが, B社が選ばれる根拠として誤りがあるものや, グラフの読み取りに誤りがあるもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

(正答の条件)
 2社のグラフを比較して, 次のことについて記述しているもの。
【B社を選択】
 ①80という数値や80分という記述
 ②グラフにおけるyの値で, A社とB社を比較する記述
 ※②は正しいことを記述していること
 <例>
 ・B社のグラフのyの値がA社より小さい。
 ・A社のグラフのyの値がB社より大きい。

◆学習指導にあたって

式とグラフを関係づけて理解できるようにしましょう。

生徒にとって身近な場面での問題においては, 文章で表された事柄とグラフの傾き, 切片との対応がつかないことも多いと考えられます。「基本料金は, グラフではどのように表されているのか」「傾きは, 問題文の中の何を表しているのか」など生徒に問い返し, 確認する場を設けることで, 文中の言葉とグラフ, グラフと式を関連付けて理解できるようにすることが大切です。

判断の理由を数学的な表現を用いて的確に説明できるようにしましょう。

説明する事柄(B)とその根拠(A)を明確に区別し, 「(A)だから(B)である」のように的確に説明できるようにすることが大切です。
 また, 生徒の説明には日常的な表現が多くみられるので, これらを数学的に表現することで, よりの確な説明になるよう見直す場面を設定することが考えられます。例えば, 「B社を選らぶ」ことの根拠として, 「B社の方が安いから。」という生徒の表現を取り上げ, 「安い」ことについて話し合う場面を設定し, 「yの値が小さい」「グラフのy座標がより下になる」など数学用語を用いて表現できることを確認することが考えられます。

中学校 2 年数学 P 調査問題・全国学力・学習状況調査とのつながり

数学の C 調査問題は、4 月に実施した P 調査問題の結果や全国学力・学習状況調査の早期採点の結果から明らかになった各校の課題が、2 学期までの授業でどのくらい改善できているかを確認できるように作成してあります。

下記のように P 調査問題や全国学力・学習状況調査問題と関連付けてありますので、自校の取組の成果と課題改善のためにご活用ください。

C 調査 問題番号	H28 年度 P 調査問題・H28 年度全国学力・学習状況調査問題との関連
【1】	P 調査問題 【1】
【2】	P 調査問題 【2】
【4】	P 調査問題 【4】
【6】	全国学力・学習状況調査 数学 A 8 (1)
【7】	P 調査問題 【8】
【8】	全国学力・学習状況調査 数学 A 10
【9】	P 調査問題 【9】
【10】	P 調査問題 【10】

平成 28 年度 C 調査問題 中学校 2 年英語

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

※答えは、すべて解答用紙に書きなさい。

1 次の各問いに答えなさい。

【1】次の日本の年中行事についての説明を読み、1 月から行事を実施した場合、3 番目となるものをア～ウの中から一つ答えなさい。

- ア People write their wishes on the pieces of paper and put them on the bamboo branches.
 イ People visit temples and shrines. They pray for health and happiness in the new year.
 ウ People enjoy eating and singing under the cherry blossoms.

〔注〕 piece[s]:枚 wish[es]:願い branch[es]:枝 bamboo:竹 temple[s]:寺 shrine[s]:神社
 pray:祈る health:健康 happiness:幸福 cherry blossoms:サクラの花

【2】次のアレックスが書いた英文を読み、誕生日について下のア～エの中から一つ選び、答えなさい。

Look at the calendar. This year, my birthday is on Tuesday. In the same week, our team has a basketball tournament. The tournament is the last Saturday of the month.

What is the date of my birthday?

〔注〕 same:同じ tournament:トーナメント last:最後の

- ア December 4th イ December 7th
 ウ December 21st エ December 25th

December						
Sun.	Mon.	Tues.	Wed.	Thur.	Fri.	Sat.
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2 次のクミとエレンの対話を読み、【3】の問いに答えなさい。

- Kumi: How was your first day of school in Japan?
 Ellen: In the fine arts classroom, I found a picture of sports day on the wall. The sun was in the picture and the color was red! I was surprised.
 Kumi: In my country, we image the color of the sun is red.
 Ellen: In my country, we image the color is yellow. They're not the same between the countries. How about the color of apples in your country?
 Kumi: In my country, we image the color of apples is the same as the sun.
 Ellen: Really? In my country, the color is yellow green. I like apples and the color.
 Kumi: How about other colors?
 Ellen: I like white.
 Kumi: White is the color of rabbits in my country.
 Ellen: Rabbits? In my country, we image the color is brown. The colors we image are different between the countries. It's so interesting. I want to know a lot about Japan.

〔注〕 fine arts:美術 found:見つけた (find 過去形) wall:壁 color:色 country:国 image:想像する
 sun:太陽 the same as: ~と同じ the colors we image:私たちが想像する色 between: ~の間で
 interesting:おもしろい a lot:たくさん

【3】表の空欄に入る色のイメージを日本語で答えなさい。

	太陽	リンゴ	ウサギ
クミ			
エレン			

3 次の英文を読んで、【4】から【8】の各問いに答えなさい。

<シンガポールの女の子ペニー(Penny)が、家族旅行で地獄谷野猿公苑(Wild Snow Monkey Park)を訪れた体験をレポートにまとめました。>

October 31, 2016

I went to the monkey park in the northern part of Nagano by train with my family. In the park we could see wild monkeys. Leaves of the trees turned red and yellow. I saw many birds. They ①(are) so beautiful. I saw some bathing monkeys in the hot spring there. The baby monkeys were so cute!

②Many (monkeys / people / see / came / the / to). Some of them were drinking juices in the park. On the way to the parking area, ③I saw a person. He was throwing a plastic bottle away in the woods! They had no manners.

In Singapore, a person must pay a fine if they throw trash away, chew gum, or smoke. So the town is clean and beautiful. To keep good manners, we must think about the penalties.

[注] northern part:北部 leaves:葉っぱ turn:～に変わる bathing monkeys:入浴しているサル
hot spring:温泉 parking area:駐車場 person:人 throw ~ away:～を投げ捨てる
plastic bottle:ペットボトル woods:森 manner:マナー Singapore:シンガポール
pay a fine:罰金を払う trash:ゴミ chew gum:ガムをかむ smoke:タバコを吸う
so:だから penalties:罰則

【4】下線部①の()内の語を、最も適切な形に直して1語で書きなさい。

【5】下線部②が「多くの人々がサルを見に来ました。」という意味の英文になるように、()内の語を並べかえて書きなさい。

◇本文の内容について【6】、【7】の質問に英語で答えなさい。答えは()内に1語ずつ書きなさい。

【6】 Did Penny feel fine when she saw him? (下線部③に関わって)
(), () ().

【7】 How did her family go to the park?
() ().

【8】 次の英文を読んで、【Questions】について以下の質問に英語で答えなさい。英文の数は問わないが、主語と動詞のある英文を書きなさい。

Next spring your family has 10 days vacation. So you are planning a trip abroad.

【Questions】

- What country do you want to go?
- What do you want to do there?

解答用紙

正答数

問/10問

平成 28 年度 C 調査問題 中学校 2 年英語

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

[解答欄]

1	【1】			
	【2】			
2	【3】	太陽	リンゴ	ウサギ
		クミ		
		エレン		
3	【4】			
	【5】	Many .		
	【6】	() , () () .		
	【7】	() () .		
	【8】			

正答例

正答数

問/10問

平成 28 年度 P 調査問題 中学校 2 年英語

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

1	【1】	ア			
	【2】	ウ			
2	【3】		太陽	リンゴ	ウサギ
		クミ	赤	赤	白
		エレン	黄	黄緑	茶
3	【4】	were			
	【5】	Many people came to see the monkeys.			
	【6】	(No), (she) (didn't).			
	【7】	(By) (train).			
	【8】	<p>例◎I want to go to America to eat hamburgers.</p> <p>○I want to go to America. I want to eat hamburgers.</p>			

2つ合って正解

- ・国名や動物等の固有名詞の綴りの間違いは、意味が読み取れる場合正答とする。
- ・「したいこと」を2文以上書いてあり、片方の文が文法的に間違いだった場合、もう一方が文法的に正しければ正答とする。

中学校2年英語【1】解説シート

◆出題の趣旨

文中から手がかりとなる語句や表現を見つけ、適切な英文を選択することができるかどうかをみる問題である。文中にある内容語（動詞・名詞・形容詞等）を中心に文意を捉えた後、問題の条件にある「1月から行事を実施した場合、3番目となるもの」に該当する英文を選ぶことが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(3) 言語材料

エ 文法事項 (イ) 文構造

c [主語+動詞+目的語]のうち

(a) 主語+動詞+{名詞 代名詞 動名詞 to不定詞 how(など)to不定詞 thatで始まる節}

◆同年度P問題との関連

直接該当する設問なし

◆解答類型

1◎	アと解答しているもの	人	%
2	イと解答しているもの		
3	ウと解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

①品詞と②意味の双方から文の構造を把握することで、文意の理解を促しましょう。

《平成28年度高等学校入学選抜者学力検査 【問4】本文 第7段落1行目より》

☆文中にある、(主語) + 動詞 + [目的語] に注目し、文の構造を考えてみましょう。

①学んだ ①' 信州のみそについて

After (I) learned [about Shinshu miso],

②始めた ②' 信じることを

④持つ ④' 驚くべき力を

(I) started [to believe] [that (this traditional food) has [amazing power]].

③信じる ③' この伝統食は驚くべき力を持つことを

☆より正確な理解のための要点

○動詞の変化形 ・過去形 learned, started ・原形(不定詞) to believe ・現在形 has

○主語になる名詞は、人とは限らない ・food

中学校 2 年英語【2】解説シート

◆出題の趣旨

カレンダーを見ながら本文中から手がかりとなる語句や表現を見つけ、適切な表現を選択することができるかどうかをみる問題である。“my birthday is on Tuesday”で曜日を限定した上で、“In the same week” “the last Saturday of the month” から日を選ぶことが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

◆同年度 P 問題との関連

【2】「学校給食」

◆解答類型

1	アと解答しているもの	人	%
2	イと解答しているもの		
3◎	ウと解答しているもの		
4	エと解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

目的に沿った読み方(Scanning と Skimming)を用いて、正確な読み取りを促しましょう。

《平成 28 年度高等学校入学選抜者学力検査 【問 3】本文 Eiko 1 回目のセリフより》

☆目的に沿った読み方で、内容を理解しましょう。

Eiko: Have you already started writing your *topics^① for our club's next newspaper? I'm going to write about the new park in our city^②. All of you know that our city is going to build a new park^③. People in City Hall^① want to make a good park^④ that everyone likes^②. I am still wondering^③ what to write about it^④. So today, I want to listen to your ideas^④ about the park^⑤.

○Scanning(中心となる事柄など大切な部分をつかむ)

- ・ _____ : クラブ新聞に何かを書こうとしていると予想
- ・ □①～③ : 新聞の話題が、新しい公園になると予想
- ・ _____①～③ : 公園の使い方や、新聞での紹介の仕方等について、それぞれの思いを把握

○Skimming(大まかな流れをつかむ)

- ・ _____④ : 「Eiko はクラブ員から、新しい公園について考えを聞きたい」

中学校 2 年英語【3】解説シート

◆出題の趣旨

クミとエレンによる対話を、話題に沿って読みながら、各国でのものに対する色のイメージを整理する問題である。「太陽」「リンゴ」「ウサギ」について、各国の具体的な色を把握することが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

3 指導計画の作成と内容の取扱い

(2) イ 外国や我が国の生活や文化についての理解を深めるとともに、言語や文化に対する関心を高め、これらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。

◆同年度 P 問題との関連

【4】日本とアメリカにおける中学校生活の比較

◆解答類型 【太陽】

		人	%
1◎	赤（色）と黄（色）と解答しているもの		
2	黄（色）と赤（色）と解答しているもの（1の逆）		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

【リンゴ】

		人	%
1◎	赤（色）と黄緑（色）と解答しているもの		
2	黄緑（色）と赤（色）と解答しているもの（1の逆）		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

【ウサギ】

		人	%
1◎	白（色）と茶（色）と解答しているもの		
2	茶（色）と白（色）と解答しているもの（1の逆）		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

単語・英文の意味を考えるだけでなく、英文の内容を具体的に想像するよう促しましょう。

◇思い浮かべる (visualize) ことで、内容をより詳しく理解しましょう。

- ・単語の導入：生徒にとって身近なものを、単語の意味と併せて思い浮かべる。
- ・英文の理解【1文】：文意を「映像」のように思い浮かべることで、内容を記憶しやすくする。
- ・英文の理解【英文読解】：英文を読み進めながら、思い浮かべた「映像」に、新たな情報を加えたり、修正したりする。

* 読解だけではなく、聴解でも「思い浮かべ」てみましょう。

中学校 2 年英語【4】解説シート

◆出題の趣旨

時制に応じて動詞を活用できるかどうかをみる問題である。ここでは、過去に経験したこととして第 1 段落は過去形で書かれていることに注目し、be 動詞 are を were に変化させることが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(3) 言語材料

エ 文法事項 (エ) 動詞の時制など

現在形, 過去形, 現在進行形, 過去進行形, 現在完了形及び助動詞などを用いた未来表現

◆同年度 P 問題との関連

【6】 watch を watched に変化

◆解答類型

1 ◎	were と解答しているもの	人	%
2	was と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

一般動詞の過去形について、現在形と比較しながら口頭練習を十分に行った後、過去形の文に直して書かせることで定着を図りましょう。

◇カード、絵、写真などを用いて、一般動詞の過去形と現在形を比較させながら口頭練習をしたり、現在形の文を過去形の文に直したりすることで理解・定着を図りましょう。

【口頭練習の例】

①一般動詞の現在形と過去形が書かれたカードを順番に見せて口頭練習を行う。

play→played watch→watched go→went see→saw

②カードの語句を見せて【基本文 1】を過去形になおして口頭練習を行う。

【基本文 1】 He yesterday. (カード) play baseball / go to Tokyo

③カードの語句を見せて【基本文 2】を過去形の文にして口頭練習を行う。

【基本文 2】 ① ② ③ (カード) ① I You He She
 ② play tennis go to Osaka
 ③ yesterday last week

She went to Osaka last week.

◇現在形を用いて「普段の生活」について書く活動をした後、過去形を用いて「昨日したこと」や「夏休みにしたこと」など、過去の出来事についての日記等書く活動や、2, 3 文程度を書く活動を位置付けるなどして、それぞれの用法の違いに気付かせた上で、過去形の定着を図りましょう。

中学校 2 年英語【5】解説シート

◆出題の趣旨

「主語＋動詞＋to 不定詞」の語順の定着をみる問題である。ここでは、主語にあたる「多くの人々」が「Many people」であることや、「サルを見に」が「to see the monkeys」であることを判断して並べ替えることが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(1) 言語活動

エ 書くこと (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。

◆同年度 P 問題との関連

【7】(desk / on / is / it / my) の並べ替え

◆解答類型

1◎	people came to see the monkeys. と解答しているもの	人	%
2	語順は正しいが、単語の綴りを間違えているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

英語と日本語の語順の違いに着目させると同時に、意味のまとまりも意識させましょう。

◇英語と日本語の語順の違いや、意味のまとまりを意識させましょう。

それぞれの文を、意味のまとまりで区切ってみよう。

多くの人々が／サルを見に／来ました。
Many people／came／to see the monkeys.

何か気が付いたことはあるかな。

英語の場合は、主語の次に動詞がくる。
長い文でも、斜線を入れると分かりやすい。

◇意味のまとまりを意識させながら音読指導を行いましょう。

伝えたい語句を強調しながら、まとまり毎にポーズを入れて読んでみよう。

Many が伝えたいことだと思うから、そこを強く読もう。まとまり毎で読むと、意味が頭にすっと入ってきやすいな。

◇発展的な問題で確かめましょう。

「Many people from Singapore came to the park to see the monkeys .」を、意味のまとまりで区切ってみよう。

came が動詞で、「Many people from Singapore」が一つのまとまりだな。「to see the monkeys .」もまとまりだ。

中学校2年英語【6】解説シート

◆出題の趣旨

本文の内容について、簡単な質問を理解し、Yes か No を使って適切に答えることができるかどうかをみる問題である。ここでは、本文中の“**They have no manners.**”に着目し、Penny が快く思っていないことを理解することと、Penny を代名詞の she にかえること、Did が疑問文の文頭にきているため、No の答え方では文末を didn't にすることが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。

(3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞(can, do, may など)で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why)で始まるもの

◆同年度 P 問題との関連

【8】Did Amy buy some chocolates?に No, she didn't. と答える。

◆解答類型

1◎	No she didn't と解答しているもの	人	%
2	No～と解答しているが、主語が she でないもの		
3	No she～と解答しているが、最後が didn't でないもの		
4	Yes ～と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

尋ねられたことに対し、どのように答えればよいのかを理解させ、言語活動を繰り返す中で確実に身に付けることができるように指導しましょう。

◇be 動詞と一般動詞の Yes-No 疑問文と、その応答の仕方について基本的な特徴を理解させることに留意し、聞いたり読んだりしたことなどについて問答するような言語活動に、繰り返し取り組めるようにしましょう。その際、答えを書いて確認させたりするなどして、確実な定着を図りましょう。

尋ねられた内容について Yes かな No かな。

尋ねられた内容が述べられている箇所はどこかな。内容に照らし合わせて判断しよう。

答えの文ではどの代名詞を使えばよいかな。

Ami についてだから、she を使うといいな。

答えの文末はどんな形かな。

ここでは、Did で尋ねられているから、答えの文末に did を付けて答えればよさそうだな。No だから did not または didn't だな。

中学校2年英語【7】解説シート

◆出題の趣旨

本文の内容について、疑問詞を使った簡単な質問を理解し、適切に答えることができるかどうかをみる問題である。ここでは、公園への交通手段について尋ねられていることが分かり、本文中にある「by train」を見つけ出し、文頭を大文字に変えて答えることが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(1) 言語活動

- ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。
エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。

(3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

- d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞(can, do, may など) で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why)で始まるもの

◆同年度 P 問題との関連

【9】What sport does Ami like?に She likes sumo. と答える。

◆解答類型

1◎	By train と解答しているもの	人	%
2	by train と解答しているもの		
3	Train(train) did と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

wh-疑問文とその応答の仕方について、口頭練習や書く活動を通して確実に身に付けさせましょう。

◇教科書本文内容についての QA 活動では、Yes / No 疑問文に加え、5W1Hについても問うようにしましょう。また、short answer, full answer のそれぞれのパターンでの答え方について、口頭だけでなく書かせることで確実に身に付けさせましょう。

- ①教科書本文等の読み取りでは、読み取りの一助として代名詞 (he, she, it, they 等) が何 (誰) を示すか、不定冠詞の a(an), 定冠詞の the の意味の違い (a book, the book の違い) 等に着眼させましょう。
- ②疑問詞を使った簡単な質問 (疑問文) の意味が理解できているか確認しましょう。
- ③文中のどの英文についての質問なのかなど、根拠となる英文にアンダーラインを引く習慣を身に付けさせましょう。
- ④教科書本文の QA 活動などで、5W1H などの様々な疑問文に対して書いて答えることができるようにしましょう。
- ⑤口頭練習や書く活動などを通して確実な定着を図りましょう。

中学校 2 年英語【8】解説シート

◆出題の趣旨

英文を理解し、「家族旅行で行きたい国」と「旅行先でしたいこと」の2つの内容を、文と文のつながり (cohesion) などに注意して正しい英文で書くことができるかどうかをみる問題である。ここでは、主語と動詞のある正しい文を書く力が求められる。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

エ 書くこと (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

例 1) ◎I want to go to America to eat hamburgers.

例 2) ○I want to go to America. I want to eat hamburgers.

◆同年度 P 問題との関連

【10】英文日記を、条件に従って1文で書く。

◆解答類型

正答の条件

- ①「行きたい国」と「旅行先でしたいこと」の2つの内容が書けている。
- ②主語と動詞のある文法的に正しい英文が書けている。
- ③国名や動物等の固有名詞以外の単語に綴りミスをしていない。文末にピリオドがある。
- ④文と文のつながりなどに注意して書いている。

1◎	①, ②, ③, ④をすべて満たすもの	人	%
2○	①, ②, ③を満たしている。		
3	①, ②を満たしている		
4	1, 2, 3以外であるが、内容的に理解できる文が書かれているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答 (準正答)

◆学習指導にあたって

「文と文のつながり (cohesion) に注意して書く」ために、英文の特徴を明確に指導しましょう。

◇「文と文のつながり (cohesion) に注意して書く」ための指導例

(生徒の作文例 1) I like soccer. I play soccer every day. I am a fan of Honda.

英語は同じ言葉の繰り返しを嫌うから、代名詞 it を使うといいよ。(参考: 日本語は同一語句の反復がよくあるため、このような誤りが起こる)

(生徒の作文例 1) I got on a train with you. But you got off a train.

同じ電車のことなら、2番目は the にするといいね。(参考: 冠詞の区別は日本人の最も不得意なことの一つである)

(生徒の作文例 1) I bought a new bike. It is red.

英語では、過去のことなら全部過去形にするのが普通だよ。(参考: 日本語は現在時制と過去時制の混合が許されるから、このような誤りが起こる)